

# 2020年度(令和2年度) 福山市子ども議会 報告・感想文集



# 2020年度（令和2年度）福山市子ども議会 報告・感想文集

## 目次

### 【第1章・開催報告】

実施要項	P5
子ども議員一覧	P6
本会議までのあゆみ	P7
本会議の様子	P9
質問・提案と答弁	P12
福山市子ども議会宣言	P19
子ども議会通信	P20

### 【第2章・感想文集】

感想文集	P27
------	-----

# 第 1 章

## 開催報告

## 2020年度（令和2年度）「福山市子ども議会」実施要項

### 1 目的

市政の現状や課題を調べ、それぞれの視点でまちづくりのための新たな施策を提案することで、地域や社会に関心を深め、主体性及び、福山への愛着と誇りを持てる子どもを育成する。

### 2 主催 福山市、福山市教育委員会

### 3 対象者 福山市に住所を有する、または市内の小・中学校に在籍する小学5・6年生、中学生。40名。

- ※応募条件
- ・「事前学習会」に参加できること。
  - ・保護者の承諾が得られること。

### 4 「本会議」開催日・場所

2020年（令和2年）10月25日（日） 福山市議会棟「全員協議会室」

### 5 応募方法

自分が考える“理想の福山市”にするためのアイデアを2つ、所定の応募用紙に記入し、期限までに事務局へ郵送してください。

- ・ 応募期間 2020年（令和2年）5月1日（金）～5月31日（日）※当日消印有効
- ・ 応募用紙は、福山市のホームページからダウンロードできます。
- ・ 状況によって、募集期間を延長する場合があります。

### 6 決定

6月中旬に応募者全員に通知します。（応募者多数の場合は、選考を行います）。

### 7 事務局・問い合わせ先

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
電話：084-928-1046

### 8 本会議までの日程

開催日	場所	項目	内容
7月11日(土)(午後)	イコール ふくやま	認定書交付式	認定書交付式と オリエンテーション
	イコール ふくやま	第1回事前学習会	市政について学び 質問のテーマを決める
8月5日(水)(午後)	イコール ふくやま	第2回事前学習会	市議会議員との交流会 「質問・提案書」作成
8月18日(火)(午後)	イコール ふくやま	第3回事前学習会	「質問・提案書」作成
随時(議員で日程調整)	随時	予備日	希望があれば集まる
9月26日(土)(午後)	ローズコム 中会議室	特別講座	ゲストをお呼びして 福山のものづくりを学ぶ
10月25日(日)	議場	リハーサル・本会議	

### 9 その他

- ・参加に要する交通費等は、自己負担とします。
- ・活動中の事故等については、「福山市市民活動総合補償制度」を適用します。
- ・活動中の様子は、広報紙やホームページに掲載することがあります。
- ・応募者全員へまちづくりパスポート50ポイントを交付します。
- ・子ども議員に採用された場合、出席日数に応じたまちづくりパスポートと、図書カード2,000円分をプレゼントします。

## 2020年度（令和2年度）福山市子ども議会 委員名簿

名前	学校	学年	テーマ	備考
にした せい 新田 晟	城北中学校	3年	健康促進アプリの導入について	副委員長
ただ たけだ 武田 あさひ	日吉台小学校	6年	子どもも大人も楽しんでできる運動の推進について	広報委員
やまもと こうしろう 山本 光志朗	加茂小学校	5年	オンライン授業を取り入れることについて	広報委員
あだち みさき 足立 美咲	中央中学校	3年	全ての子どもが充実した授業を受けることができる取組について	広報委員
おぎはら のぞみ 荻原 希実	宜山小学校	5年	山道などに多いポイ捨てについて	広報委員
やまもと けんせい 山本 憲誠	加茂中学校	2年	頻発する自然災害への対策について	広報委員
まつお みか 松尾 実果	神辺中学校	2年	地球に優しいecoな町づくりについて	子ども議会宣言策定委員
ひろかね ゆい 廣兼 優衣	駅家南中学校	1年	公園のトイレがきれいで使いやすい福山市について	広報委員
いしだ あやね 石田 彩寧	城南中学校	1年	駅前の楽しい空間づくりについて	子ども議会宣言策定委員
にした みつ 新田 暁	深津小学校	5年	世界パラ会議福山大会について	広報委員
まつおか かなえ 松岡 佳苗	宜山小学校	6年	市全体に観光客が来る福山について	広報委員
ほしやま はづき 星山 葉月	盈進中学校	1年	外国人観光客を増やす取組について	広報委員
くずはら ゆい 葛原 夢依	盈進中学校	3年	駅前の活性化について	委員長

## 本会議までのあゆみ

### 1 認定書交付式，第1回事前学習会

日時：7月11日（土） 13時30分～16時30分

会場：男女共同参画センター 大会議室

#### (1) 認定書交付

枝廣市長より，子ども議員の代表者に認定書が交付されました。

『新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが中止となる中子ども議会の開催に至ったのは，皆さんの「自分たちの力でより良い福山をつくっていききたい」という熱い思いがあったからです。活動に福山の魅力をたくさん知ってもらい，理想の福山市に近づけるよう，一緒に取り組んでいきたいと考えています。』とエールが送られました。



#### (2) 市政についての学習：企画政策課

福山市がやっている取り組みや変わってきたこと，今後の福山市のビジョンなどを説明してくださいました。今まで知らなかった福山市の一面を学び，質問書をつくるヒントになりました。



#### (3) 委員長選挙

子ども議会本会議を進行する委員長選挙を行いました。

5人の立候補者がみんなの前で選挙演説を行い，それぞれ決意を述べました。子ども議員は，演説を聞いて投票をしました。

投票の結果，委員長に盈進中学校3年生の葛原夢依さん，副委員長に城北中学校3年生の新田晟さんが当選しました。



### 2 第2回事前学習会

日時：8月5日（水） 13時30分～16時30分

会場：男女共同参画センター 大会議室

#### (1) 市議会議員との交流会

初の取り組みとして，市議会議員との交流会を開催しました。

大田祐介副議長と塚本裕三総務委員会委員長に，議会の役割や議員としての心構え，自分のテーマに関して聞きたいことなどを質問しました。

普段交流する機会がないため，貴重な経験ができたとの声が多くありました。



## (2) 質問書の作成

それぞれのテーマに関連する担当課の方に来ていただきました。今年度は個人で質問書を作成するため、各々が市の取り組みや課題などを担当課の方に聞き、質問したい内容を深めていきました。



## 3 第3回事前学習会

日時：8月18日（火）13時30分～16時30分

会場：男女共同参画センター 大会議室

前回に引き続き、担当課の方にお話を聞きながら、質問書を作成しました。いただいた資料や聞き取った内容を参考にしながら、それぞれが本会議に向けて質問内容を質問書にまとめました。中には、目で見て内容がわかるよう、フリップに絵を描く子ども議員もいました。



## 4 特別講座：福山のものづくりを学ぶ

日時：9月26日（土）13時30分～16時00分

会場：ローズコム中会議室

市内のものづくり企業の方を招いて、福山の経済を支えるものづくりの現状について学習しました。今年度は、株式会社エフピコから3人の職員の方に来ていただき、ものづくりに対する思いや地域貢献などをお話していただきました。トレーのサンプルもたくさん用意していただき、消費者が使いやすいよう工夫されて作られたトレーに子ども議員は興味津々でした。



## 5 リハーサル・本会議

午前中にリハーサルを行い、午後からの本会議に向けて動きや流れを確認しました。

本会議では、子ども議員は自分のテーマについて一人ずつ質問や提案を行い、これに対して、担当局長が答弁を行いました。

# 2020年度（令和2年度）福山市子ども議会 本会議

- 1 日時 2020年（令和2年）10月25日（日）13：30～15：30
- 2 場所 福山市議会棟3階 全員協議会室
- 3
  - ・開会前
    - (1) 子ども議員紹介
    - (2) 理事者紹介
    - (3) 市長挨拶
    - (4) 教育長挨拶
    - (5) 来賓挨拶（市議会議長）
    - (6) 記念撮影
  - ・本会議（委員会形式）
    - (1) 開会
    - (2) 議事（質疑応答）
    - (3) 子ども議会宣言
    - (4) 副市長より講評
    - (5) 記念品贈呈
    - (6) 子ども議会委員長挨拶
    - (7) 閉会

## 本会議の様子

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催しました。例年は議場で開催していますが、今年度は全員協議会室で行いました。開会前に、市長・教育長・市議会議長から挨拶をいただき、記念撮影をしました。

【全員協議会室の様子】



【市長あいさつ】



【教育長あいさつ】



【市議会議長あいさつ】





その後、委員長の開会宣言で子ども議会本会議を開会しました。今年度は委員会形式で行い、子ども議員は一人ずつ自分のテーマについて発表し、それに対して担当局長が答弁しました。議事の進行は、委員長と副委員長が交代しながら務めました。

【新田 晟 委員】



【武田 あさひ 委員】



【山本 光志朗 委員】



【足立 美咲 委員】



【荻原 希実 委員】



【山本 憲誠 委員】



【松尾 実果 委員】



【廣兼 優衣 委員】



【石田 彩寧 委員】



【新田 暁 委員】



【松岡 佳苗 委員】



【星山 葉月 委員】



【葛原 夢依 委員】



【議事進行(委員長)】



【議事進行(副委員長)】



全員の発表後、子ども議会宣言策定委員の2人が子ども議会宣言を発表し、副市長からの講評がありました。また、副市長から記念品の贈呈があり、子ども議員を代表して子ども議会副委員長が受け取りました。

最後に子ども議会委員長の挨拶ですべての日程を終了しました。

【子ども議会宣言】



【副市長講評】



【記念品贈呈】



【子ども議会委員長あいさつ】



【集合写真】



みなさん、  
おつかれさまでした！



## 各委員の質問・提案と答弁

### 【健康促進アプリの導入について】

自分の健康状態や、健康に生活していくために必要な情報を知っておくことはとても大事なことです。

健康促進アプリを導入し、利用者が増えれば、福山市が健康先進都市に近づくとおもいます。



#### 提案

- ①「食生活」「運動」「自分の体調」に特化したアプリを導入したらどうか。
- ②アプリを幅広い年齢の方に利用してもらうために、ポイント制にするなど、興味のわく内容を取り入れたらどうか。

#### 保健福祉局長からの答弁

①②について、「健康促進アプリ」を使うことで、自分の健康状態を知ることができ、健康に関心を持つことにつながります。さらに、ポイント等のメリットが加わると健康づくりの意欲が高まります。このたび、「福山市実証実験まるごとサポート事業」にアプリを活用した健康増進について提案された企業があるので、この実証実験の結果を検証する中で、提案内容も参考に、効果的な仕組みを検討していきます。

### 【子どもも大人も楽しんでできる運動の推進について】

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、運動ができず、体力や筋力が低下している人がいると思います。運動を続けることで、免疫力が高まり、新型コロナウイルス感染症にかかりにくくなると思われました。

#### 質問・提案

- ①子どもも大人も楽しんでできる運動はどのようなものがあるか。
- ②チラシ、動画、SNSなどで運動を広めて、多くの人に取り組んでいただけたらどうか。



#### 保健福祉局長からの答弁

①②について、誰でも行いやすい体操として、福山ばら祭のテーマソング「心に咲く花」に合わせたリズム体操があります。高齢者の方には、椅子に座って行う「いきいき百歳体操」をおすすめします。また、小学校区ごとにコースを案内する「ウォーキングマップ」を作成しています。さらに、「誰でもできる！おうちで5分 かんたん運動♪」の動画を制作して配信しています。皆さんに知っていただけるよう、工夫した動画づくりや発信を、今後も続けてまいります。

## 【オンライン授業を取り入れることについて】

新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校になると、学校が再開した時に一気に勉強しないといけないので、小中学生への負担がとても大きいです。オンライン授業を取り入れると、家でもスムーズに勉強できると思います。

### 質問

①オンライン授業は早くていつ行われるのか。



### 教育次長からの答弁

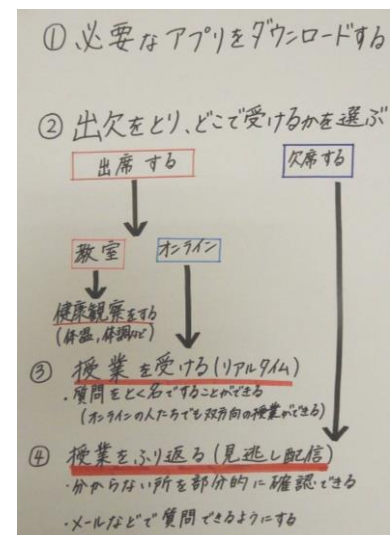
①について、いくつかの学校でオンラインを使った学習を行っています。文部科学省が進めている、全小中学校に1台のタブレットパソコンを整備する計画「GIGAスクール構想」に基づき、本市でも今年度中の整備に向けて準備中です。来年度4月からは、検索サイトや動画アプリを使って調べたり、双方向のオンライン授業をすることができます。タブレット型パソコンを効果的に活用しながら、学ぶ面白さが実感できるよう取り組んでまいります。

## 【全ての子どもが充実した授業を受けることができる取組について】

オンライン授業は「いつでも、どこでも、誰でも」見たり参加したりすることが出来ます。その特徴を生かすと、学校に行けない人や、集団生活が苦手な人でも授業を受けることができるのではないかと考えました。

### 提案

①教室での授業とオンライン授業を自由に選び、教室での授業にオンラインで授業を受けている人も参加し、双方向の授業を受けることが出来る取組を行ったらどうか。



### 教育次長からの答弁

①について、文部科学省が進めている「GIGAスクール構想」に基づき、本市でも今年度中の整備に向けて準備中です。提案のように、家で繰り返し授業動画を見たり、分からないところを質問したりするなど、自分で内容や方法を選択して学習ができます。しかし、社会を生きるために必要な力が、オンラインのみで身に付くわけではありません。行事、体験活動など、友だちや先生、地域の人たちと一緒にだからこそ身に付く力がたくさんあります。今後、オンライン学習も活用しながらも、皆さんの学習意欲や知的な好奇心が発揮できるよう取り組んでまいります。

## 【山道などに多いポイ捨てについて】

私が住んでいる学区の山道はゴミのポイ捨てが多いです。まずは福山からいろいろなことを試し、どの方法がポイ捨て防止に効果的かを知りたいです。

### 質問

- ①ポイ捨て防止のため、市役所ではどんなことをしているか。
- ②自分にできることを考えていきたいが、効果的な方法は何があるか。



### 経済環境局長からの答弁

①について、学校や地域に向けて、ごみの分別方法やごみ処理の仕組みを周知しています。「芦田川を守る日一斉清掃」や「環境にやさしい都市づくり全市一斉清掃」を市民の方と一緒にしています。ポイ捨て防止の看板の設置や監視カメラの設置、パトロールも行っています。

②について、ポイ捨てを防止し、環境美化を進めていくためには、一人でも多くの市民が、福山の環境を守ろうという思いを持つことが大切です。「私たちが清掃をしています」という看板を設置することで、より効果的なポイ捨て防止につながります。学んだことを家庭や学校、地域へ伝えると、環境美化への意識が高まると思います。

## 【頻発する自然災害への対策について】

毎年のように大雨が降り、様々な災害も起きています。災害の危険度をみんなが知ること、自分の家とその周辺が安全か危険かを知ることが大切だと考えました。

### 質問

- ①災害が起こりそうな時の状況を知る方法や、避難情報を受け取る方法はどのようなものがあるか。
- ②自分の家やその周辺が、安全か危険かを知るためにはどのようなものがあり、それらをどのように伝えているか。



### 総務局長からの答弁

①について、气象台や広島県、福山市においてホームページ、テレビ、ラジオ、スマホなどを通じて、天気予報、降水量、河川の水位等を公表しています。また、スマホや携帯電話への緊急速報メール、テレビ、ラジオ、SNSなどを通じて危険なエリアを絞って避難を促す情報発信に努めています。

②について、土砂災害、洪水、津波などの災害ごとに、危険のある範囲や避難場所を載せたハザードマップを作成し、市のホームページに載せています。2017年度にはハザードマップを載せた防災ガイドブックを各家庭に配布しています。

## 【地球に優しい eco な町づくりについて】

地球温暖化の原因の一つとして、CO<sub>2</sub>が挙げられます。日本では色々なところで火力発電が使われており、もっと地球に優しい再生可能エネルギーを普及させる必要があると思います。



### 提案

- ①再生可能エネルギーを増やすため、公共施設の屋上などの未利用地を活用して、太陽光パネルの設置を進めるのはどうか。
- ②家庭用の太陽光パネルで作った電気を売却して、その電気を備後圏域で活用できるようにしてはどうか。

### 経済環境局長からの答弁

①について、公共施設を建設する場合は太陽光発電システムを設置することとしています。今年3月末時点で49の公共施設に設置しています。また、市内の小中学校約10校の校舎の屋上等に太陽光発電システムを設置する予定です。引き続き、再生可能エネルギーの普及に向け、より多くの公共施設へ設置するよう検討していきます。

②について、環境にやさしい電気を増やすため、市内や周辺市町において、自治体、民間企業等が設置している発電規模の大きい太陽光発電所から電気を買い取っています。住宅の太陽光発電の活用には料金管理システムの開発等に多額の経費が必要になるため、事業として成り立つか検討しているところです。

## 【公園のトイレがきれいで使いやすい福山市について】

一部のトイレには落書きや汚れがあります。地元町内会の方だけでなく、私たち中学生も協力して、公園のトイレをきれいにしていきたいです。



### 質問

- ①公園のトイレをきれいにして気持ちよく利用できるよう、福山市と地元の町内会、私たちが連携して活動できることはあるか。



### 建設局長からの答弁

①について、地域に密着した比較的規模の小さい公園のトイレは、地元自治会などに日常的な清掃をお願いしていますが、その人数は少なくなっている状況です。そこで、中学生を中心としたボランティアメンバーで公園トイレの清掃活動をしていただくことはいかがでしょうか。また、トイレ美化に対する利用者意識を高めるポスターを作成していただけないでしょうか。いただいたポスターは、地元自治体と連携しトイレ内に掲示するなど、利用者の意識向上につなげていきたいと思います。

## 【駅前楽しい空間づくりについて】

現在の駅前には会社が多く通勤手段として使われています。にぎやかで学生も楽しめるような理想の福山駅前になるよう提案します。

### 提案

- ① 駅前の歩道を自由に使えるようにしたらどうか。
- ② 空き家を活用して、「飲食店」「雑貨屋」「ホテル・旅館」にしたらどうか。



### 経済環境局長からの答弁

①について、福山駅周辺の商店街や商業施設と連携し、「オープンストリートふくやま」という社会実験を開催してきました。今年6月からはテラス営業ができるようにしました。今後も歩いて楽しい魅力的な空間となるように使い方を検討していきます。

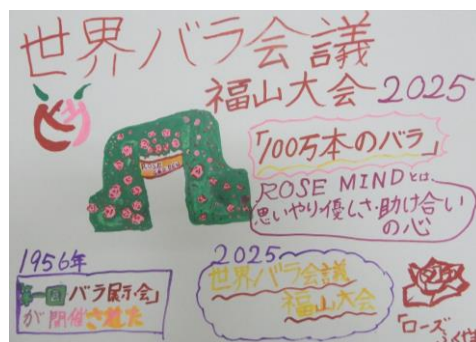
②について、空き家、空き店舗の活用を考える「リノベーションスクール」を2018年から開催し、これがきっかけで伏見町では6件の店舗が出店しました。スクール関連以外でも10件以上の出店が進んでいます。今後も、空き家・空き店舗の活用が進むよう取り組んでまいります。

## 【世界バラ会議福山大会について】

福山市はバラであふれ、「100万本のばらのまち」になっています。2025年の世界バラ会議福山大会で、やっぱり福山市のバラはすごいと思われたらいいなと思います。

### 質問

- ① これまでのバラの取組について。
- ② 世界バラ会議福山大会がどのような大会を目指しているのか。



### 市民局長からの答弁

①について、福山のばらのまちづくりは、戦後の復興を願い市民が植えた1,000本のばらから始まり、1985年からは「ばら」を市の花の制定、2010年3月には「100万本のばらのまち福山」の実現を目指して、ばら苗のプレゼントや新品種のバラの誕生などの取組をしてきました。「福山市ばらのまち条例」を制定し、子ども議員が提案した「ばらの日」(2016年5月21日)に100万本のばらのまちを実現しました。

②について、世界バラ会議は、世界40か国から700人の方が一堂に集まる大会です。世界中の人々と平和への尊さを分かち合い、ばらに関わる人々との交流やふれあいを大切にしたローズマインドあふれる大会を目指します。

## 【市全体に観光客が来る福山について】

市全体の観光業が盛んになり、観光客が来ることで、人口が減っている地域にも活気が生まれると思います。福山の観光地を多くの人に知ってもらい、観光に来てもらうために、市が行っている取組について質問します。

### 質問

- ①観光客を増やすために、福山市ではどの年代をターゲットにしたPRを行っているのか。



### 経済環境局長からの答弁

①について、福山市の魅力を多くの人に知ってもらうために、東京などの首都圏に住む20歳代を中心とした女性をターゲットに設定して情報を発信しています。これは、首都圏は人口が多いこと、SNSをよく使うことから、さらに情報が広がる可能性が高いからです。また、観光誘客のターゲットとして、近畿圏の60歳以上の人をターゲットに設定しています。来客数が多く日帰り・宿泊両方が選択肢に入ること、年代的に行動しやすく、平日の観光も可能だからです。

## 【外国人観光客を増やす取組について】

新型コロナウイルス感染症の影響で、他国への旅行がしづらい状況にありますが、今後、外国人観光客を増やす取組により観光業を活性化させ、福山の名所や良い所を知ってほしいです。



### 質問

- ①旅する前に行先について調べる「旅マエ」と、旅の最中に次の行先について調べる「旅ナカ」があるが、外国人観光客において、特にどの時点で力を入れているのか。

### 経済環境局長からの答弁

①について、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパは、滞在期間が比較的長く、旅行中に次の行き先を決める人が多いという特徴から「旅ナカ」でのPRが効果的であり、広島空港国際線到着ロビーでの情報発信や県内のパンフレット・QRコードの設置に取り組んでいます。また、台湾・中国は滞在期間が短く、旅行前に行先を決める傾向があるため「旅マエ」が効果的であり、多言語情報サイトへの情報発信や、現地旅行会社へのPRなどを行っています。今後、コロナの影響が収まったときに多くの外国人観光客にお越しいただくため、引き続き情報発信の充実を図ってまいります。



## 【駅前活性化について】

駅前が活性化するために、駅周辺の建物を再利用して、多様な人々を引き付ける居心地のいい空間を増やしてほしいと思います。



### 質問

① 駅前に人が集まり活性化するための、市の考えや取組状況を教えてください。

### 建設局長からの答弁

①について、空き家、空き店舗の活用を考える「リノベーションスクール」を2018年から開催しています。このスクールをきっかけに、伏見町では6件の店舗が出店し、スクール関連以外にも10件以上の出店が進んでいます。また、今年度から、道路や公園へキッチンカーを出店したり、飲食店の前に机、イスを日常的に設置するなど、若者から高齢者、観光客など様々な人々にとって居心地の良い魅力的な空間をつくる取組を行っています。ぜひ、家族や友達と一緒に駅前に来て、新たな魅力を見つけ、SNSなどで福山駅前の魅力を全国に発信していただきたいです。



# 「子ども議会宣言」

私たち子ども議員は、福山市の全小中学生を代表して福山のよりよい未来を目指すため、次のことを宣言します。

私たちは、福山の人たちが安心して暮らせる町、駅前が活性化し、観光客が集う町、デジタル教材を利用し、どこでも学べる町、福山の環境を維持し、災害から市民の命を守る町、そして、地域が一体となり、人であふれる町を目指します。

たくさんの歴史をもった福山で暮らしている私たちは、福山の歴史を学び、人々の思いを知り、福山の人々の気持ちにこたえるため、精一杯努力します。

2020年（令和2年）10月25日

福山市子ども議会子ども議員

石田 彩寧

松尾 実果

# ふくやま 子ども議会通信

2020年度 第1号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第1号 広報委員 荻原 希実・松岡 佳苗

## 7月11日(土) 認定書交付式

交付式で子ども議員に認定されました。  
とてもうれしかったです。認定書交付の時はとても  
きんちょうでしたが、無事成功してほっとしました。



## 7月11日(土) 第1回事前学習会

### ☆☆市政についての学習☆☆

福山市のナンバーワンや出生数、総合計画などを  
学びました。帰りにはバラの苗をもらいました。  
福山をもっとよりよい町にしたいと思いました。



### ☆☆委員長選挙☆☆

委員会で進行役を務める委員長を選挙で選びました。  
立候補者の中学生の演説を聞き、自分たちで投票しました。  
自分たちが投票して一人一人が責任を持って決めた委員長なの  
で、委員長についていけるようこれからの事前学習会でしっかり  
学習をして本番である委員会を成功させたいです。



### ☆☆テーマ決め・質問シート作成☆☆

テーマ別でグループに分かれて、次回の事前学習会で  
担当課の方に質問するための質問シートを作成しました。  
自分のテーマに合った質問を考えるのが少し難しかったけ  
れど、質問をして提案をもっと具体的に、分かりやすくす  
るためにも頑張りました。次回は担当課の人へ質問したり、  
市議会議員の方との交流があるので、しっかり疑問に思っ  
たことなどは聞きたいと思います。

いよいよ子ども議会が始まりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
内容を変更して行います。今までとは少し違った子ども議会になりそうです！小学生5人、  
中学生8人という少人数ですが、全員で力を合わせて10月まで頑張りましょう♪(松本)

# ふくやま 子ども議会通信

2020年度 第2号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第2号 広報委員 山本 憲誠 ・ 山本 光志朗

8月5日（水）第2回事前学習会

## ☆☆市議会議員との交流会☆☆

市議会議員さんとの質疑応答・意見交換がありました。全員、考えてきた質問などを市議会議員さんに質問しました。中には、市議会議員さんの応答をメモしている人もいました。自分も見習おうと思いました。



## ☆☆質問書の作成☆☆

テーマ別のグループに分かれて、コーディネーター課の方に、たくさんの事を教わりました。教えてもらったおかげで、委員会の時の発表がとてもスムーズにできそうです。



コーディネーター課との話し合いの後、委員会で質問したいこと、提案したいことを質問シートにまとめました。これを、次の第3回事前学習会に活用して、質問書が完成できればと思います。

# ふくやま 子ども議会通信

2020年度 第3号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第3号 広報委員 武田 あさひ ・ 足立 美咲

## 8月18日(火) 第3回事前学習会

今日の事前学習会では、質問書を完成させました。  
市役所の方が質問書の言葉遣いを直して下さったりしました。

私のテーマに合う資料を持って来てくれました。  
とても分かりやすくまとめてありました。



その他に、困っていることがあったり、  
分からないことがあると、それに対して  
とても分かりやすく教えてくれました。  
本会議が楽しみです。



3回の事前学習会を通じて、福山の現状や  
自分が調べたいこと、質問したいことについて  
理解することができました。

本番に向け、自分にできることを  
行っていきたいです。



# ふくやま 子ども議会通信

2020年度 第4号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第4号 広報委員 足立 美咲 ・ 新田 暁

## 9月26日（土）特別講座

福山のオンリーワン・ナンバーワン企業の一つとしてエフピコのことを知っていましたが、お話を聞いて、知らなかったことがたくさんありました。



障がいを持った方の雇用や、ボトルなどからトレーを再び作っていることなどのお話を聞き、人に優しく環境にも優しい取り組みをされているんだと改めて感じました。

実際にエフピコで作られているトレーやそれらの原材料などをたくさん持って来ていただきました。日頃、スーパーで見たことがあるトレーがたくさんありました。



僕が驚いたものは、

- 社歌があり、コンクールに出たこと。
- トレーになる前が板チョコレートのような大きな薄い板であること。
- エフピコで作ったトレーには、エフピコマークを必ず入れてあること。
- 早くから障がい者の方を雇用されていたこと。
- 消費者から意見を聞いて、たくさん考えて、改良改善されていること。

とても、勉強になりました。



エフピコの方から教えていただいたように、「今自分に出来ることは無いか」「人のためになっているか」をしっかりと考えて行動していきたいです。

# ふくやま 子ども議会通信

2020年度 第5号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第5号 広報委員 星山 葉月・廣兼 優衣

## 10月25日(日)本会議

今年の本会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、例年とは少し違った本会議でした。

私は特に、例年なら一班ひとつの質問・提案だったのが、今年度は一人一つの質問・提案だった事が印象的でした。自分一人ですべての文章を読み、フリップを挙げ…と、例年より緊張感が増し、大変でした。



ですが、その逆に、自分の聞きたいことを中心的に質問・提案できて、良い機会になったのではないかと思います。

今年は、今までとは少し違う子ども議会となりましたが、認定書交付式の時に初めて顔を合わせ、みんなで共に学んだことは、今までと一緒です。



私は、今年で2度目の参加でしたが、昨年とは少し違う事を学べて良かったです。

今回の経験を活かし、大変な時でも工夫をして行動できるようになりたいです。



本会議では、一人ひとりが今まで学習してきた成果を発揮し、観光や学習、環境など様々な分野の質問や提案を市役所の方へ伝えました。市役所の方は私たちの質問に対し、分かりやすく答えてくださいました。

今年は13人と少ない人数でしたが、その分一人ひとりとの距離がとても近く、仲良くなれました。



発表では、「タブレットなどの端末を利用した学習がしたい」、「空き家や空き地をホテルや旅館にしたら、観光客が集まるのではないか」などの提案が出ました。

今回の子ども議会を通して、福山のことを広く深く知れました。そして、福山がさらに好きになりました。仲間と仲良くなることもできたので、来年も参加したいと思います。



第 2 章  
感想文集



## 福山市立城北中学校3年 新田 晟 『最後の子ども議会』

僕は、子ども議会に参加して今年で4回目です。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を防ぐために、例年とは異なる形式で行われました。また、子ども議員の人数も少なく、認定式では少し寂しい気持ちになりました。

しかし、今年は中学3年の僕にとっては最後の子ども議会となり、いろいろな行事が中止になる中で子ども議会を開催していただいたことに感謝しています。今年は、副委員長にも選んでいただき、今までの中でも特に思い出となる議会となりました。4回の子ども議会で、普段は出会えない他校や異なる学年の人達と活動できたことが大きな財産となりました。

そして、福山市のことについて多くのことを学び、そこから議会や委員会に提案をさせて頂いたことで、福山市をどのようにしたらより良い都市になるかを考えるようになりました。これからも、福山市が魅力いっぱい成長し続ける都市となるように、いろいろな場面に参加して役立ちたいと思います。

## 福山市立日吉台小学校6年 武田 あさひ 『子ども議員を通して』

私は、子ども議員を通して去年あまり興味のなかった事に触れてみました。また、子ども議員になって人前で話すのがはじめてで、今回の子ども議員では、初めてだらけでした。

まず、去年のようにグループではなく、一人で考えることができるのか不安でした。でも、いっしょに考えてくれた市役所の方のおかげで一つ一つ考えて質問書を書き上げることができました。

本会議では、人の前で自分の意見を言うのが少し怖かったけど、言い出すとスラスラ言えました。

また、本会議で最後だけど、子ども議員を通して友達もできました。福山市のコロナへの姿勢などをきくことができました。

## 福山市立加茂小学校5年 山本 光志朗 『子ども議会』

10月25日に、子ども議会がありました。

ぼくが子ども議会で得たもの・感じたことは、他校の生徒や市議会議員の方と話し、関わりあう力と、本会議に出席した方に自分の意見を広める力です。

話し、関わりあう力では、ぼくは知らない人、初めて会った人には、きんちょうして、なかなか上手くは話せないけど、子ども議会に参加するにつれて、いろいろな人と関わることができました。

自分の意見を広める力では、学校では発表するけど、会議室のように大きな場所

で発表することはほとんどないので、とてもきんちょうしました。しかし、他の人がどうどうと発表していたので、自分もがんばろうと思うことができました。

ぼくは、この子ども議会でつちかった力を活かして、いろいろなことにチャレンジし、来年も子ども議会に参加できるようにがんばりたいと思います。

### 福山市立中央中学校3年 足立 美咲 『子ども議会を通して』

私は、今回の子ども議会を2つの特別な思いを持って取り組みました。

1つ目は、コロナ禍の中での思いです。今回は新型コロナウイルスの影響で議会形式だった本会議が委員会形式になりました。そのことによってグループの活動から個人の活動になり、今までしてこなかったことも多くありました。しかし、多くの方々協力して下さったおかげで自分の提案を分かりやすく伝える事ができたと思います。

2つ目は、最後の子ども議会への思いです。4年目となる今年は、私にとって最後の子ども議会となりました。最後まで悔いを残さず全力で活動をする事ができて本当に良かったです。

最後に、子ども議員として私を支えてくださった青少年・女性活躍推進課の方々、子ども議員のみなさん、ありがとうございました。この経験を活かし、更なる成長につなげていきたいと思っています。

### 福山市立宜山小学校5年 荻原 希実 『子ども議員で学んだこと』

私が子ども議員を通して学んだことは、2つあります。

1つ目は、自分から話しかけていく大切さです。なぜならば、私は人見知りで、勇気を出して人に声をかけることがとても苦手です。ですが、子ども議員では積極的にいかないと話しかけることもできなかったので、改めて自分から知らない子に話しかけることの大切さを知ることができたのでとても良かったなと思いました。

2つ目は、大きな声でハキハキという大切さです。私は自信がない時には小さな声でごにょごにょ言っていてあまり人に伝わってなくて何回も説明して困っていました。ですが、子ども議員では大きな声でハキハキとしゃべらなければ知らない人に話しかけて友達になることすらむずかしいです。なので、大きな声でハキハキと言う大切さが分かりました。

たくさんの経験ができたので、今度は友達や妹を誘って一緒にやりたいです。

## 福山市立加茂中学校2年 山本 憲誠 『子ども議会を経験して』

僕は、今回3回目の子ども議会でした。しかし、今回は今までとは違い、新型コロナウイルス感染症のため、本会議が議場ではなく全員協議会室だったり、本来は班で話し合いをして質問・提案するところが、自分一人で全て考え質問・提案する、などさまざまなところが違いました。

その中で僕は、一人で考え質問・提案をする方がいいと思いました。理由は、その方が自分の意見を言えたり、自分独自の発表の仕方・発表原稿ができるからです。また、それにともなって、自分一人で文章を考え構成する力がさらについたと思いました。

また、そんな中でも子ども議会を開催して下さった、青少年・女性活躍推進課の方にお礼を言いたいです。

僕は今回3回目で慣れていくつもりだったけど、今回は新しいやり方だったのできんちょうしました。だけど、その分力がつくし、福山のためにもなるので、また参加したいです。

## 福山市立神辺中学校2年 松尾 実果 『子ども議員を通して学んだことを生活に活かす』

私は子ども議会に初めて参加しました。最初は同じ学校の人もいなくて、どうやったら他の子ども議員さんと仲良くなれるだろうと少し困りました。だけど、事前学習会で同じ意見をもつ人や同じグループの人と仲良くなることができ、学習会に行くことが楽しくなりました。市政の学習では、自分の知らないことを沢山学ぶことができました。市議会議員さんとの交流会では、市議会議員さんと初めて言葉、意見を交わしました。緊張もしたけれど、自分にとっていい経験になったと思います。本会議では、これまで学習したことを元に質問を考え、担当局長に質問をしました。自分が考えた質問に対して、的確に答弁が返ってきて、すごく自分の学びにつなげることができました。私は今年環境をテーマにしましたが、来年参加する事ができたら、今度は別のテーマを学んでみたいです。

子ども議会で学んだことを活かし、これからの日常生活につなげていきたいと思っています。



## 福山市立駅家南中学校 1年 廣兼 優衣 『子ども議会を通して』

私が今年の子ども議会を経験して得たものは、自分の意見を自分の言葉にして伝えることです。私は人見知りで、なれるまでに時間がかかります。だから、去年はあまり自分の意見を出せませんでした。でも今年は、一人での発表だったため、自分の意見を言えました。でも、来年以後また参加するなら、班で一つの発表がいいです。なぜなら、一つの事についてたくさんの人で考えることで、より多くのより良い意見が出ると思うからです。

私は、今年で2回目の子ども議会参加でしたが、去年の子ども議会とは全てが違い、とまどう所もありました。ですが、昨年と同じように楽しく終わることができました。

今回の経験を、これからの生活でも活かしていきたいです。

ありがとうございました。

## 福山市立城南中学校 1年 石田 彩寧 『新しいカタチ』

今年度の子ども議会は、例年とはちがいで、一人ずつ質問・提案をし、一人ずつに答弁をいただきました。新しい進め方に少しとまどってしまいましたが、自分のききたいことや、こうなってほしいと思うことを聞いていただいて、そのことに答えていただけて、福山のことにもっと関心が持て、好きになりました。

この子ども議会で得たことは、2つあります。1つは、チームワークです。一人ひとりの質問や提案だったけれど、お互いがよくわからない所などを教え合うことによって協力して活動ができ、一体感が生まれました。2つ目は、福山市への思いです。おととしの子ども議会に参加する前までは、「市議会議員さんたちがやってくれるだろう。」と思っていたけれど、子ども議会に参加することにより、「自分の手で変えたい。」という思いがめばえてきました。今年も良い経験ができたので、来年も参加したいと思います。

## 福山市立深津小学校 5年 新田 暁 『初めての子ども議会』

僕は、はじめて子ども議会に参加し、福山市のことや僕たちの生活のことなどについて学ぶことができました。その中には、学校では教えてくれないこと、経験できないこともたくさんあり、とても良かったです。僕のお兄ちゃんは、小学校6年生から毎年子ども議会に参加してきました。その姿を見て、僕はすごいな、カッコいいなと思っていたので、子ども議会に参加できたことにうれしく思っています。普段はお話することができない他の学校の友達や市議会議員さん、市役所の人と

一緒に福山市のことについて考えたり、意見交換したりしたことは、良い経験でした。僕は、世界バラ会議について委員会で提案しました。多くの大人の人に自分の意見を伝えることは初めてだったのでとても緊張しましたが、貴重な経験となりました。今までの僕は、あまり福山市のことについてちゃんと考えたことがなかったので、少し成長したように思いました。

### 福山市立宜山小学校6年 松岡 佳苗 『子ども議会を通して』

私は子ども議会を経験して思ったことや感じたことはたくさんありました。そう思ったことの一つに情報をもとに自分でまとめ発表したということがありません。最初、私はあまり人前に出て発表したり話したりすることが得意ではなかったけど、だんだん人前で発表したりすることが出来るようになりました。これからは積極的に人前に出て発表できる所では自信を持ち少しでも発表できるようにしたいです。

私は、参加するのが初めてでとても緊張したけど他の学校の人達から教えてもらったりしたことがたくさんありました。普段あまり関わりのない中学生の人や別の小学校の人と学習したりすると、思ってもみなかった考えがあったりして面白かったです。

子ども議会では色々なことを感じ思ったことがたくさんあったので、これからはそれを生活へと活かしたいです。また、来年も参加したいと思います。

### 盈進中学校1年 星山 葉月 『子ども議会を通して感じたこと』

私は、今回の子ども議会を通して、仲間と同じ目標を持ち、話し合いを重ねる楽しさを感じました。

今年は例年と違い、班で話し合うのではなく、一人ひとり発表する形式でした。そのため、事前学習会でも一人で考えることが多かったです。この時、私はみんなと話し合う時間が楽しかったことに気付きました。

また、発表する場が議場ではなく全員協議会室だったので、議場の雰囲気をおまわりを感じる事が出来ず、残念でした。

しかし、子ども議会を開催して下さったことで、昨年仲良くなった仲間や、他校の子に会うことができました。人数が少ないことでよりみんなと仲良くなることもできました。私は、今年も子ども議会に参加することができて良かったと思いました。来年も参加したいです。ありがとうございました。

## 盈進中学校3年 葛原 夢依 『仲間と出会えた』

私が4年間の子ども議会を通して得たものは数えきれないほどあります。

1つは福山への興味、議会への興味が深まったことです。子ども議会を通して、学校では学べない学びや体験をさせていただきました。学習会では毎回必ず知らなかったことを知ることができ、やりがいを感じていました。

そして、「仲間」の大切さです。子ども議会はいろいろな小・中学校から集まるので、会うはずのない人達と出会い、仲間が増えていきました。このコロナ禍では、距離をとらないといけないため、新しい仲間、新しい出会いというものがあまりありませんでした。しかし、この子ども議会は、私にたくさんの仲間を与えてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、2年間議長・委員長として福山の市政について少しでも関わることができ、すごく幸せでした。ありがとうございました。

「子ども議会」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。

○ ものづくり企業

株式会社エフピコ

○ 事前学習会講師，関係課

企画財政局企画政策部企画政策課

建設局都市部公園緑地課

総務局総務部危機管理防災課

経済環境局経済部産業振興課

教育委員会学校教育部学びづくり課

市民局まちづくり推進部世界バラ会議推進室

議会事務局議事調査課

経済環境局環境部廃棄物対策課

経済環境局環境部環境総務課

経済環境局文化振興部観光課

建設局福山駅前再生推進部福山駅前再生推進室

保健福祉局保健部健康推進課

議会事務局庶務課

## あしがき

福山市では、次代を担う子どものまちづくりへの参画を推進するため、2009年度（平成21年度）から「福山市子ども議会」を開催してきました。学習会を通じて福山について学び、よく知ってもらい、福山のことをもっと好きになってもらいたい、そして、ふるさとに愛着と誇りを持ってほしいという願いも込められています。

以来12回目となる本年度まで、多くの子どもたちが子ども議会に参加し、子どもの立場から市政に対する質問や提案をしてくれました。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年とは異なる形式での開催となりましたが、子ども議員の皆さんは毎回元気な姿で意欲をもって参加してくださいました。

この報告書は「2020年度（令和2年度）福山市子ども議会」のあゆみを振り返り、子どもたちのまちづくりへの参画を促す機会になればと作成いたしました。

福山市のすべての子どもたちの未来が、素晴らしい出会いと希望に満ちたものとなることを願い、お届けします。

2021年（令和3年）3月

福山市市民局まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課 職員一同



「2020年度（令和2年度）福山市子ども議会 報告・感想文集」

2021年（令和3年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

〒720-0831

広島県福山市草戸五丁目12番3号

(084) 928-1046